

鎌倉市教科用図書採択検討委員会(第3回) 会議録

日 時 平成 27 年 7 月 22 日 (木) 9 : 30 開会
17 : 00 閉会

場 所 鎌倉市生涯学習センター 第 6 集会室

出席者 石渡委員 島巡委員 鷺谷委員 吉田委員 川合委員 安宅委員
弓 委員 久保田委員 初見委員

事務局 杉並教育指導課長 露木指導主事 關根指導主事 坂井指導主事
中尾指導主事 河合指導主事 多那指導主事 太田指導主事
渋谷指導主事 鈴木指導主事

次 第

- 1 開会
- 2 報告書(案)検討
- 3 閉会

事務局 鎌倉市教科用図書採択検討委員会第3回を開会する。鎌倉市教科用図書採択検討委員会の第3回委員会を開催する。本日の会議録署名委員を川合委員と久保田委員にお願いする。

委員長 本日の流れについて事務局にお願いする。

事務局 本日は最終回のため、検討委員会の報告書をまとめる作業が中心となる。お手元の「平成28年度使用中学校教科用図書調査研究報告書(案)」は、前回第2回委員会で協議した内容を事務局でまとめたものである。

内容について、「総合評価」の☆の数、「総合評価の内容」に発言の趣旨が記載されているかを確認いただきたい。

さらに、用語が適切に使われているか、字句の修正等についても検討いただきたい。

また、今回が最後の検討・協議となるので、前回の検討・協議内容と本日の意見を踏まえ、最終の総合評価の協議をお願いしたい。

委員長 今の事務局の説明の通りに進めていく。よろしいか。

委員 (異議なし)

委員長 美術から始める。前回の協議では☆3つが日本文教出版、☆2つが光村図書、☆1つが開隆堂となった。担当指導主事、お願いする。

指導主事 報告書(案)を説明。

委員長 意見をお願いする。

委員 前回の資料にもあるが、各社題材の目標やねらいはあるが、開隆堂は振り返りがついており、そこに学習の展開が明確にされているという特長がある。

委員 開隆堂の目次やタイトルは、内容が視覚的に分かりやすい。国宝、重要文化財、日本の文化について記載がある点が良い。

委員 日本文教出版は、各題材に、関心・意欲・態度、発想や構想、創造的な技能、鑑賞の4つの観点から、学習の目標を「学びのねらい」として示されており、わかりやすい。鎌倉の生徒にとって、とても使いやすいのでは。

委員 光村図書は2～3年の巻末の「学習を支える資料」が充実している。P92以降日本と外国の年表として美術史年表があり、とても良い。他社にも美術史年表は載っているが、一面を使って表しているところが良い。

委員 光村図書は絵に谷川俊太郎の詩がついていたり、風神雷神に詩が付いていたりして、生徒の鑑賞の視点が広がっていく。他社にはない。

委員 日本文教出版は学習と関連する内容が掲載されているページや、安全に関する注意点や、道徳の学習と関連する内容などを表すマークがわかりやすく示されていてとても良い。

委員 開隆堂は掲載作品がたくさんあり、生徒の作品が多かった。身近な人が模範となり、生徒が取り組みやすい。

委員長 それでは、まとめる。日本文教出版を☆3つ、光村図書を☆2つ、開隆堂を☆1つとする。良いか。

委員 (よい)

委員長 国語に進む。前回の協議で☆3つが三省堂、光村図書、☆2つが東京書籍、☆1つが学校図書、教育出版となった。担当指導主事、お願いする。

指導主事 報告書(案)を説明。

委員長 意見をお願いします。

委員 教育出版は、現代の作者が多く、他社では使っていない作品がある。多くの作品にふれさせたい場合にはいいのでは。

委員 学校図書は単元名が全学年で統一されている。1年から3年を比べるとそのようになっており、また副題がついていて、各学年に応じている。1、2、3年生とどんどん広がっていく。内容も良い。

委員 単元という感覚とは、違うのではと思う。

委員 これで統一していいのかと言うと、無理がある。限定されてしまう。

委員 生徒には抽象的で分かりにくい。

委員 単元名というより、学習のまとめり、テーマのような感じになっている。

指導主事 趣意書の中で単元というように使われていたので、そのように表現した。

委員 表現を変えて、「単元」ではなく「特色」と置き換える方が適切である。

- 委員 全学年に統一されてテーマがあつて、縛られてしまう。
- 委員 縛られてしまうかと思うが、分かりやすいということもある。
- 委員 三省堂では、「領域別教材一覧」によって、見に付きたい力と具体的な言語活動が示され、見通しをもって学び方を意識しながら学習に取り組めるよう工夫されているところがよい。
- 委員 光村図書は小学校と中学校の連携する教材があり適応している。小学校でやったものをまた取り上げているところが良い。小学校からの学習の連続性を考えて、1単元設けている。他社は少し出ているが、1単元使っているのは光村図書だけである。
- 委員 光村図書は、紙の色が目優しく、読みやすい。紙の材質や字の大きさを工夫している。鎌倉の生徒にとってもふさわしいと思う。
- 委員 光村図書は、やはり古典教材の取扱いがよい。古文独特の響きや調べを大切にするように工夫している。また、独自の明朝体を使っていて、見やすいところも特徴である。
- 委員 やはり、国語の教科書を通じて、読書活動のきっかけになってほしいと考えている。そういった意味では、三省堂は「私の本棚」「名作コラム」といったコラム欄は、生徒の読書活動が進むような内容であると思う。
- 委員長 他になれば、☆はこのままとし、三省堂、光村図書を☆3つ、東京書籍を☆2つ、学校図書、教育出版を☆1つとする。それで、良いか。
- 委員 (よい)
- 委員長 次は書写。書写は前回の協議で、☆3つは三省堂と光村図書、☆2つが東京書籍、☆1つが学校図書、教育出版となった。指導主事、何かあるか。
- 指導主事 報告書(案)を説明。
- 委員長 意見をお願いします。
- 委員 光村図書は、活用のヒントが巻末の資料編にあり、とても充実している。他社では取り上げられていない新聞やポスターなどの資料もあり、内容がとても良い。

- 委員 確かに充実した内容になっている。
- 委員 学校図書は毛筆のお手本が沢山あるなど、毛筆が充実している。
- 委員 光村図書は筆使いの基礎・基本の定着を図るために、運筆が朱墨の濃淡で示されていて分かりやすく、とても良い。
- 委員 学校図書のサイズが中途半端なのはどうか。
- 委員 お手本のサイズが半紙に近いからではないか。
- 委員 教育出版は学習活動や「日常生活に活かして書こう」「書式の教室」など実生活に活かす部分が、ここで一つに確認できるのが分かりやすい。他者は点在している。
- 委員 三省堂は、楷書の基本的な点画や行書の運筆を朱墨の濃淡で示すとともに、学習のポイントとなる穂先の動きを拡大して提示しているの、生徒にとってもわかりやすい。
- 委員長 他にないか。なければ☆はこのままとし、☆3つを三省堂、光村図書、☆2つを東京書籍、☆1つを学校図書、教育出版とする。それで良いか。
- 委員 (よい)
- 委員長 次は英語。英語は前回の協議で、☆3つが学校図書、三省堂、☆2つが東京書籍、開隆堂、☆1つが教育出版、光村図書となった。担当指導主事、何かあるか。
- 指導主事 報告書(案)を説明。
- 委員長 意見をお願いします。
- 委員 学校図書は、スピーチなどの活動に、段階を踏んで取り組めるようになっている。
- 委員 学校図書の大きな特徴としては、一般動詞から入っているところで、日常のコミュニケーションを意識して編集されている。早い段階から会話に入れるような工夫が見られる。
- 委員 三省堂は、1年生の導入のところで絵から入っている。

- 委員 学校図書も三省堂と同様、絵から入っている。
- 委員 三省堂は、小学校とのつながりをかなり意識していて、とても良いと思う。
- 委員 三省堂は最初のところで発音の練習をしている。
- 委員 三省堂は、朗読劇などで発表する活動もあり、生徒が楽しんで学習に取り組めるような工夫をしている。
- 委員 また、人権、平和など深く考えさせる内容も含まれていて、単に言葉を学ぶためのテキストではないという印象を受けた。
- 委員 三省堂は、「読む」活動で、段階を踏んで内容理解をするように構成されている。
- 委員長 他にないか。なければ、☆はそのままとし、☆3つが学校図書、三省堂、☆2つが東京書籍、開隆堂、☆1つが教育出版、光村図書とする。それで良いか。
- 委員 (よい)
- 委員長 次は家庭分野。家庭分野は前回の協議で、☆3つが東京書籍、☆2つが開隆堂、☆1つが教育図書となった。担当指導主事、何かあるか。
- 指導主事 報告書(案)を説明。
- 委員長 意見をお願いします。
- 委員 教育図書の年中行事はどういうことがあるか。あえて言うところは無くてもよいのか。現在やっていない行事も沢山ある。
- 委員 東京書籍では、衣食住などに関する実践的、体験的活動や災害に備えた住まいなど実習の例がいろいろ示されていて使いやすい。
- 委員 東京書籍、開隆堂にはガイダンスがあり、3年間を見通せてとても良い。
- 委員 教育図書のガイダンスもわかりやすく工夫されている。教育図書の学習の深まりが期待できる内容になっているという表現はおかしい。

委員 東京書籍は、ガイダンスが家庭分野の学習の目標である自立と共生を目指す教科であるということを明確に打ち出されていてとても良い。また、3年間の学習を見通せてとても良い。

委員長 他にないか。無ければ☆はこのままとし、☆3つが東京書籍、☆2つが開隆堂、☆1つが教育図書とする。それで良いか。

委員 (よい)

委員長 次は技術分野。技術分野は前回の協議で、☆3つが東京書籍、☆2つが開隆堂、☆1つが教育図書となった。担当指導主事、何かあるか。

指導主事 報告書(案)を説明。

委員長 意見をお願いする。

委員 教育図書は「ものづくり」の工程が詳しく書かれている。例えば植物の育て方など写真入りでかなり詳しい調査資料になっていて、多数の写真が載っている。

委員 東京書籍では、各見開きの右下にはパラパラ写真が設けられていて、とても興味深い。さらに東京スカイツリーができるまでの流れが掲載されていて、おもしろい。

委員 教育図書は、資料で評価の内容がA B C Dで分けていない。

指導主事 学習指導要領では領域としてA B C Dと記されている。

委員長 報告書の記述を統一してもらうことにする。

委員 東京書籍は、巻末に「防災手帳」が掲載されていて、さらに、切り取って保存できるようになっている。防災教育を推進する上でもとても良い。

委員 開隆堂では、鎌倉大仏の鑄造開始が掲載されており、鎌倉の生徒には身近な話題である。

委員 東京書籍は、ガイダンスがわかりやすく、学習したことが生活の中で活用するまでの流れがよくまとめられている。

委員長 他にないか。無ければ☆はこのままとし、☆3つが東京書籍、☆2つが

開隆堂、☆1つが教育図書とする。それで良いか。

委員 (よい)

委員長 次は保健体育。保健体育は前回の協議で、☆3つが東京書籍、☆2つが大修館、学研みらい、☆1つが大日本図書となった。担当指導主事、何かあるか。

指導主事 報告書(案)を説明。

委員長 意見をお願いします。

委員 東京書籍は、各学年で区切られていて、生徒たちも学びやすい。

委員 東京書籍は見通しが持ちやすい。

委員 大修館は、防災のP97のチャレンジで防災計画を自分で立てられるようになっている。生徒の意識が高められる。

委員 学研みらいの巻末資料に国際大会のことが多く載っている。他社にはない。

委員 東京書籍は性に関する内容について、発達の段階に即した記述がされている。

委員 学研みらいは思考のまとめが確認できる。大修館は最後に書き込める。そのようなところは生徒たちにとって確認ができ、とても良い。

委員 大日本図書には、図や表がたくさんあり、学習内容を視覚的にも捉えやすくできている。

委員 東京書籍のそれぞれの章末の「確認の問題」や「活用の問題」は適量である。

委員長 他にないか。無ければ☆はこのままとし、☆3つが東京書籍、☆2つが大修館、学研みらい、☆1つが大日本図書とする。それで良いか。

委員 (よい)

委員長 次は音楽(一般)・器楽。一般は☆3つが教育出版、☆2つが教育芸術

社、器楽は☆3つが教育芸術社、☆2つが教育出版だった。担当指導主事、何かあるか。

指導主事 報告書（案）を説明。

委員長 前回の協議で一般と器楽の評価が逆転していた。学習内容の連携という観点から両社を統一する方向で考えていきたい。意見をお願いする。

委員 教育出版の資料は、他に資料がいらなくらい載っている。学習すべき内容は精選されている方が使いやすい。

委員 教育芸術社の記述は鎌倉の生徒たちが今まで自主教材として使ってきた曲が取り上げられているということか。それとも、主に取り組む楽器がリコーダーということか。

指導主事 鎌倉は器楽で中心になっている楽器がリコーダーと琴である。

委員 年間 35 時間と少ない。生徒たちの興味を引くには、生徒たちにたくさんの資料を提示し、その中で、先生が精査して与えればよい。器楽は教育出版が使いにくいわけではない。使い慣れてくれば、授業がやりやすい面もある。

委員 苦手な生徒も興味・関心を持って取り組めるような精選をすべて先生に任せることは、先生にとって負担になるのではないか。

委員 やるものは決まっているので、付随する資料がたくさん載っていても、すべてをやるわけではない。

委員 興味を持たせると言うことであれば、教育出版だと思う。

委員 一番使うリコーダーの導入で比較すると、教育出版は指使いなど、丁寧に分かりやすい。

委員 教育出版社はソプラノリコーダーとアルトリコーダーの運指が対比して掲載されている。既習の運指と対比させながら学習することができる。

委員 トータルで考えると教育出版が良いのではないかと思う。

委員 1年間の時間数の3分の2は一般、3分の1は器楽である。一般が教育出版であれば、教育出版の器楽があまりに劣るわけではないなら、器楽も

教育出版で良いのではないか。

委員 紙質や楽譜が教育芸術社の方が見やすい。

委員 教育芸術社では、各教材で出てくるリコーダーの音域がわかりやすく示されている。

委員 教育出版は、日本の伝統的な音楽で楽器の歴史的背景と演奏形態を知ることができる。また、楽譜が見開きになっていて、琴の位置づけが分かり、全体的な日本の楽器が見えることで全体を見通すことができる。

委員 教育出版社は楽器の奏法の写真や教材が豊富で生徒が興味を持ちやすい。

委員長 他にないか。無ければまとめる。教育出版を☆3つ、教育芸術社を☆2つとする。ここで、休憩とする。再開後は、理科から始める。

(休憩)

委員長 理科から再開する。理科は前回の協議で、☆3つが学校図書、☆2つが東京書籍、教育出版、啓林館、☆1つが大日本図書となった。担当指導主事から何かあるか。

指導主事 報告書(案)の説明。

委員長 意見をお願いします。

委員 学校図書は植物の写真で朝比奈切通しや、科学と職業のつながりを示す資料に大船フラワーセンターを取り上げるなど鎌倉市や近隣の地域に関わるものを取り扱っている。

委員 学校図書では江ノ島の地層のことも取り上げていて、身近な題材が扱われている。生徒の学習にも身近な資料が多い方が良いのではないか。

委員 学校図書は、実験の課題が分かりやすく書いてあり、実験を行って結果の確認から考察へとといった流れが分かりやすくなっている。

委員 学校図書は、単元の初めに既習事項の確認がある。確認することで学習のつながりがわかりやすいのではないか。

委員 教育出版のイラストを多く用いることについて、調査員会ではどのような意見があったか。

指導主事 写真でなくイラストにすることで、必要な部分だけが切り取られて分かりやすいということであった。

委員 調査員会の報告では、写真の掲載位置や大きさに統一感があるとなっている。

指導主事 メスシリンダーをイラストで表すことでわかりやすくなっている。

委員 学校図書では、環境教育に関する資料（「ライフサイクル アセスメント」など）を取り上げている。

委員 報告書の啓林館の最後の2行に「発展的」が重複しているため分かりにくい文になっている。

委員長 他にないか。無ければまとめる。☆3つが学校図書、☆2つが東京書籍、教育出版、啓林館、☆1つが大日本図書とする。それで良いか。

委員 (よい)

委員長 次は数学。数学は前回の協議で、☆3つが東京書籍、☆2つが大日本図書、学校図書、教育出版、☆1つが啓林館、数研出版、日本文教出版となった。担当指導主事から何かあるか。

指導主事 報告書(案)の説明。

委員長 意見をお願いします。

委員 東京書籍の右ページ始まりは何が右ページ始まりなのか。

指導主事 単元のこと、導入を意識して、次の展開が見えてしまわないように、あえて右ページ始まりにしてあるところが多い。常にではないが。

委員 「各章の導入では」などという言葉を入れた方がよい。

指導主事 東京書籍1年生ではP45、2年生ではP103、3年生ではP31が、数学的にどう考えていこうかということで右ページ始まりになっている。

委員 東京書籍の「社会とつながる」、「教科とつながる」では、数学を学ぶ意

義や有用性が実感できるような題材が取り上げられていてよい。

委員 大日本図書は、自分の言葉で、ノートに直接書き込めるところがよい。

委員 学校図書の様々な生徒のニーズの内容について具体的に例えば習熟度で表しているのかなどつけ足すとよい。

委員 学校図書に小学校の振り返り「算数から数学へ」があるが、他社にはないか。

指導主事 ある。他社にも導入に関わる部分としてある。

委員 学校図書はノートの使い方が、他社にもあるが、一番分かりやすく、理解しやすい

委員 教育出版の「みんなで数学」は、1年生ではP155、2年生ではP115、3年生ではP38など、各学年に数箇所あって、とても良い。

委員 学校図書は、言語活動の充実など使えるところの観点が明確である。

委員 教育出版の「Let's try」は「章のとびら」とセットで、導入として扱うのか。前のこの部分から入り、課題を設定していくのか。

指導主事 教育出版の場合、「学習をする前に」が必ず設けられていて、「章のとびら」から入り、「Let's try」の前のこの部分で基本事項等を確認して、次に向けて課題設定のための「Let's try」がある。

委員 これは学習のステップで、「章のとびら」と「Let's try」を並べてはつながらないか。

指導主事 記述の面でつなげることはでき、その方が分かりやすい。

委員 大日本図書の構成・分量で、説明文や解法が示されている基本問題数が県の報告書を見ると他社と比べ多い。

委員 東京書籍の基本の問題では、節の学習を終えた段階で基礎的な内容理解の確認、定着が図れるようにしている。また、例などに戻って確認できるスパイラルな学習の工夫がされていてよい。

委員長 他にないか。無ければまとめる。☆3つが東京書籍、☆2つが大日本図

書、学校図書、教育出版、☆1つが啓林館、数研出版、日本文教出版とする。それで良いか。

委員 (よい)

委員長 次は公民。公民は前回の協議で、☆3つが東京書籍、☆2つが帝国書院、日本文教出版、☆1つは教育出版、清水書院、自由社、育鵬社となった。担当指導主事から何かあるか。

指導主事 報告書(案)を説明。

委員長 意見をお願いする。

委員 報告書の文言の整理をした方がよい。

委員 東京書籍は、冒頭の「公民の学習の初めに」では、地理・歴史教科書の資料を掲載しており、両分野の学習内容と公民的分野とのつながりが示されている。

委員 報告書の帝国書院、「言語活動を促す」という表現があるが、言語活動が目的ではない。

委員 同じく報告書の帝国書院、第2段落の表現が分かりにくい。

委員 日本文教出版の第1段落の表現が分かりにくい。1文を2文にするほうがよい。

委員 教育出版の「持続可能性を妨げる」の表記、「探求」と「探究」の統一をしてほしい。

委員 育鵬社の最初の1文の表現はこれで良いか。

委員 東京書籍と清水書院の「分野」の使い方はこれで良いか。

委員 「よう」と「ように」の使い分けと統一してほしい。

委員 帝国書院は、導入として、「クローズアップ」というコーナーが設けられていて、具体事例が示されていて、学習内容に入りやすい。

委員 東京書籍と帝国書院は、学習内容を扱うバランスが良いと思う。

委員 先月、選挙権の引き下げる公職選挙法等の一部が改正された。今後、公

民の学習が、ますます大切になるので、バランスよく学ぶことは大切。

委員長 それでは、意見をまとめる。☆は報告書の通りとし、☆3つが東京書籍、☆2つが帝国書院、日本文教出版、☆1つは教育出版、清水書院、自由社、育鵬社とする。それで良いか。

委 員 (よい)

委員長 続いて歴史。歴史は前回の協議で、☆3つが東京書籍、帝国書院、☆2つが教育出版、日本文教出版、☆1つが清水書院、自由社、育鵬社、学び舎となった。担当指導主事から何かあるか。

指導主事 報告書(案)を説明。

委員長 意見をお願いする。

委 員 東京書籍は、歴史上のコラムで女性を紹介する内容が良い。

委 員 帝国書院は、鎌倉時代に発展した文化の扱いが充実していてとても良い。鎌倉の生徒たちが学ぶ上では、関心をもって学べると思う。

委 員 ほとんどの教科書で女性を取り上げられているが東京書籍は、とても良い。

委 員 帝国書院は、巻頭に「日本各地の伝統行事と祭り」、巻末に「歴史の舞台を訪ねよう」「世界と日本を結ぶさきがけとなった人々」「日本地図の歴史」が掲載されていて、わかりやすい。

委 員 清水書院の「もっと知りたい歴史」がストーリーとして表されている。

委 員 自由社の「コラムはもっと知りたい」以外にあるのか。

委 員 確かめる活動を通して、中学校の学習へつなげていく。

委 員 東京書籍は、各章の最後に「この時代の特色をとらえよう」や「この時代の歴史の学習を確認しよう」を設けられており、学習の確認や復習に役立つ。

委員長 まとめる。☆3つが東京書籍、帝国書院、☆2つが教育出版、日本文教出版、☆1つが清水書院、自由社、育鵬社、学び舎とする。それで良いか。

委員 (よい)

委員長 続いて地理。地理は前回の協議で、☆3つが帝国書院、☆2つが東京書籍、教育出版、☆1つは日本文教出版となった。担当指導主事から何かあるか。

指導主事 報告書(案)を説明。

委員長 意見をお願いします。

委員 日本文教出版について、コラムが設けられていてとても良い。

委員 東京書籍は領土をめぐる問題について様々な資料を提示している。

委員 帝国書院は「世界の諸地域」や「日本の諸地域」では、各地域の最後に「学習をふりかえろう」が設けられていて、復習や確認、振り返りに役立たせることができる。

委員 東京書籍は領土をめぐる問題、歴史的経過、現状を詳しく書いていることで考えさせたり注目させたりしている。

委員 日本文教出版のほうがたくさん書かれている。

指導主事 東京書籍は自然環境を含め、P4を使って書かれている。

委員 領土をめぐる問題がある島々の自然環境について他社より詳しく書いている。

委員 帝国書院の「技能をみがく」では、地理の基礎的な技能を身に付けるコラムになっていて、調査ノートの取り方や写真の読み取り方などがあり、分かりやすい。

委員 確かに帝国書院の地形図の読み取りには特徴がある。

委員 日本文教出版と東京書籍の本文の記述には、さほど差がないのではないか。

委員 領土問題は歴史的なものが詳しく書かれている方がよく、それに関する地理的情報が濃いことが果たして優れているということになるのか。

- 委員 東京書籍は領土をめぐる問題がある島自体の紹介がよくされている。
- 委員 日本文教出版は地域的特色を理解するために図版を大判紙面にして、地域全体の特色をとらえやすくしている。
- 委員 帝国書院は、「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」が言葉で書いてあって、学習する目的や流れが明確である。また、領土についての記述も、具体的に分かりやすく説明されていると思う。
- 委員長 他にないか。無ければまとめる。☆3つが帝国書院、☆2つが東京書籍、教育出版、☆1つは日本文教出版とする。それで良いか。
- 委員 (よい)
- 委員長 続いて地図。地図は前回の協議で、☆3つが帝国書院、☆2つが東京書籍となった。担当指導主事、何かあるか。
- 指導主事 報告書(案)を説明。
- 委員長 意見をお願いします。
- 委員 帝国書院は地図が鮮明であり、さらに資料図が豊富である。
- 委員 帝国書院の地図は、各州、地域の資料図を豊富に掲載されていて、とても見やすい。
- 委員 帝国書院は地理図の彩色表現を工夫しており、コントラストを付けて、視覚的にとらえやすくなっていて、見やすい。
- 委員長 他にないか。無ければまとめる。☆3つが帝国書院、☆2つが東京書籍とする。それで良いか。
- 委員 (よい)
- 委員長 以上ですべての協議を終了する。最終的には事務局と委員長、副委員長でまとめることでよいか。
- 委員 (よい)
- 委員長 では、事務局をお願いします。

事務局 今後について、報告書原案の提示
種目ごとに☆の数と文章表現の確認

(閉会)